

キリンビバレッジ 2018年10月販売概況レポート

1. キリンビバレッジ社

カテゴリー	前年比
清涼飲料合計	107%

- ・ 清涼飲料市場全体は単月前年比 105%となった。
- ・ 当社は単月前年比 107%で着地。
- ・ 生茶は、量販チャンネルが約 4 割増と好調に推移して単月前年比 122%
- ・ 午後の紅茶は、「午後の紅茶 おいしい無糖」が 1 割増と好調だったが、例年より気温が高かった影響によりホット商品が伸び悩み、単月前年比 99%
- ・ ファイアは、10月のリニューアルにより「ファイア 挽きたて微糖」を中心に拡売を図り、自販機チャンネルでは前年並みに推移したが、量販および CVS チャンネルで伸び悩み単月前年比 89%
- ・ 健康・スポーツ飲料は、アミノサプリC、キリンラブズスポーツが寄与し、単月前年比 159%
- ・ 炭酸飲料は 4 月リニューアル以降好調に推移している「キリンレモン」と、6 月に発売した「ニューダ スパークリング/スパークリングレモン」が寄与し、単月前年比 116%

以上